



自信をもって堂々と英語を話せるようになりました。インド、本当におすすめです！

工学部 土木工学科 4年 山仲凌太さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

派遣先: インド／IITM

4年生の5月中旬、就職活動を終え、残り少なくなった学生生活は普通に研究室で過ごそうと思っていましたが、最後の年くらい何か貴重な経験をしてこれからの社会人生活に活かしていきたいと考え、プログラムへの参加を決意しました。数あるプログラムの中でインド・IITMを選んだ理由は自分の今までの海外経験にあります。私はこれまで、ホームステイや旅行などで何カ国か訪問したことがありましたが欧米諸国が中心でした。そこで今回は、中国を追い抜くほど特に急成長しているインドの現状を見たり、日本とは全く異なる文化・慣習を学びたいと考えて、参加を決意しました。

滞在期間中は、基本的に午前中は大学のラボ見学、午後は2～3時間の英語の授業を受け、夕方からは、日によって異なりますが、チェンナイ市内観光や現地の学生とのスポーツを通じた交流等をして過ごしていました。その中でも強く印象に残っているのが英語の授業です。日本で今まで受けてきた英語の授業とは全く異なり、学生全員が能動的に英語を話せるよう、指導していただきました。先生には、流暢に話すことよりも大事なのは自信をもってはっきりと相手に伝えることが一番重要だと教えていただき、8回という少ない授業回数ではありましたが、研修後半には堂々と話することができるようになり、英語を話すことが楽しく感じられるようになりました。

二週間という短期間のプログラムでしたが、想像していたよりもはるかに大きな学びを得ることができました。それは英語での会話力だけでなく、急成長しているインドでの貧富の格差や、多宗教独特の文化といった、インドでしか得ることのできない体験です。私は半年後には社会人になりますが、仕事においてここでの経験を生かせるよう、語学の勉強や異文化への理解を深めていきたいと思います。



大学の研究内容を英語で聞くことで、言語によるコミュニケーションが出来にくいもどかしさを感じ、語学の勉強意欲が向上した。

システム理工学部 環境システム学科
1年 荻野 慎吾さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可

派遣先： インド・IITM

大学入学以来、自分の視野を広げるため、また具体的な夢を見つけるため、留学に行こうと思っていました。そのためまず手始めとして、費用が少なくて済み期間も2週間と短いプログラムから始めようと思い、今回はインドのIITMを選びました。

滞在期間中のスケジュールは、平日の午前中は約3時間の研究所見学、午後は2時間ほど英語の授業という内容。休日は世界遺産のマハーバリプラム訪問、チェンナイ市内を自由行動、独立記念日の現地の学校を訪問したりしました。研究所見学では土木、電気、化学、機械、生物の研究所を一日ずつ回りました。特に機会分野の研究室では、身近な車椅子を使った開発を見せてもらい非常に興味がわいたことが印象に残っています。英語の授業では主に大声で、自信をもって発言ができるようになる、ということを中心とした指導を受けました。ランダムに与えられた題材についてプレゼンテーションするという授業もありました。指導の甲斐あり、最終的には準備物に不備があったものの、自信をもって発表することができました。

休日の活動では、自由行動の際に乗った地域の電車、学校訪問が印象に残っています。ドアもない、乗車賃も安いし、そこから見えた風景はきれいな建物、スラム街などインドの現状を知れた気がしました。反対のホームに行く際に直接線路の上を通ったのはとても印象的でした。また、学校訪問ではインドの学生の志の高さに驚きました。質問対応の際、日本の市場や津波対策についてなど、私が同い年だったら考えないようなこともないような質問をたくさんされました。どうしたらこんな志の高い人材を育成できるのか不思議でたまりませんでした。

2週間と短い間ではありましたが私の中で大きくまとめると3つの良い点がありました。インドの学生の志の高さを知れたこと、会話がスムーズにできないもどかしさから語学の勉強意欲が増したこと、インドの文化を知れたことです。次はグローバルPBLの参加をしたいと考えています。



語学力はもちろん、様々なことにおいて成長
することができました！

システム理工学部環境システム学科1年
宿谷 実礼さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： インド・IITM

せっかく奨学金制度があるのだから活用しよう、海外に行くことで自分の英語力を試したいと思い、留学を決意しました。また、成長著しい新興国の現状を見てみたい、世界トップクラスの大学の研究設備はどのようなものなのか見てみたいという思いがあり、数ある留学プログラムの中かでもインドのプログラムを選びました。

午前中は研究室見学、午後は2時間英語の授業、そのあとは日によって、現地の大学生とスポーツをしたり、市内を観光したりするといったスケジュールでした。研究室見学では専門用語が数多く出てきて、理解するのはとても大変でしたが、特に自分の専門の研究室では、これからどのようなことを学んでいくかなどということが知れ、とても勉強になりました。英語の授業では、一人ずつ異なるお題が与えられ、その場で即座に発表させられるというものを何度も行いました。そのおかげで、プログラムの後半では前半のときと比べ、英語での質問に対して素早く返答することができるようになりました。実際英語で会話をするにはこの力が必ず必要ですが、普段の授業ではなかなかこの力を養うことはできないため、とてもいい経験になったと思います。またその他休日の日には世界遺産を訪れたりといったことも行いました。

今回の語学研修により語学力はもちろん上がりましたが、それ以上に、もっと英語を話せるようになりたいと強く思い、英語の勉強のモチベーションがとても高まりました。また市内観光を通じてインドの現在の様子を知ることができ、様々なことを考えさせられると同時に世界観も大きく広がりました。二週間の留学で語学力なんて上がらないし、行っても仕方ないと思う人もいるかと思いますが、語学力以外にも様々なことが得られるため、インドを含む新興国への留学をおすすめします。

